

I. 広東省

1. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長代行が香港中華総商会訪問団と会談

●10日午後、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長代行が広州市で蔡冠深会長率いる香港中華総商会訪問団と会談し、次のように述べた。香港は国際貿易、金融サービス等の分野で以前から強みを有しており、同総商会が橋渡し・紐帯の役割を果たし、これまでどおり広東省と香港の協力をサポートし、両地域の各界における交流を増進し、香港のビジネス界からより多くの投資を呼び込み、共に手を携えて国際市場を開拓し、ウィンウィンの状態を実現していくよう希望する（1月11日付『南方日報』）。

2. 2016年度指導グループによる民主生活会の開催

●中央の要求に基づき、11日、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、胡書記が省党指導グループを代表し、基準に照らし合わせた比較検査を行うとともに、総括の講話を行なった（1月12日付『南方日報』）。

3. 省党常務委員会議の開催

●12日午後、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、第18期中央紀律検査委員会第7回全体会議の精神を伝達・学習し、広東省がそれを貫徹・実行するための意見を検討した。会議では、習近平・総書記の重要講話の精神を深く学習・貫徹し、反腐败闘争に深く入り込み、全面的に厳格な党のガバナンスの一貫性、創造性、実効性を絶えず強化しなければならないと強調（1月13日付『南方日報』）。

4. 何忠友・副省長が在中国ベラルーシ大使一行と会談

●12日、上記会談で何忠友・副省長は一行の訪問を歓迎し、本年は中国とベラルーシの国交樹立25周年であると述べた上で、双方が宣伝とプロモーションに力を入れ、できるだけ早く情報交換プラットフォームを構築し、広東の企業が中国・ベラルーシ工業パークへ進出するよう積極的に推進していきたいと指摘した（1月13日付『南方日報』）。

5. 「広東学習フォーラム」の開催

●13日午後、李玉妹・省組織部長主宰の上記フォーラムが開催され、「イノベーションによる発展戦略を実施し、ハイレベルな国家科学技術産業イノベーションセンターを構築する」という特別テーマについて学習した。呂薇・国務院発展研究センター技術経済研究部長が招かれ、ガイダンスを行なった。胡春華・省党書記、王榮・省政協主席が出席（1月14日付『南方日報』）。

6. 春節の帰省ラッシュにおける安全工作会议の開催

●14日、清遠市で19台の玉突き事故が発生（7台から発火、死者6人、軽傷者19人）。省党委員会・省政府はこの事故を非常に重視し、上記会議を開催した。胡春華・省党書記は書面で指示を出し、春節の帰省ラッシュにおける交通安全を全力で保証するよう要求。馬興瑞・省長代行が会議を主宰するとともに講話を行なった（1月15日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 人事異動

●13日、陳建華・市人代主任主宰の第15期市人代常務委員会第1回会議が開催され、葉牛平・市発展改革委員会主任が市政府秘書長に任命された（1月14日付『広州日報』）。

2. 広州市人代・政協の会議が閉幕

●8日午前、市政協第13期第1回会議が閉幕。会議では第12期市政協常務委員会活動報告、同常務委員会による提案業務の状況に関する報告、第13期市政協委員会第1回会議における決議が採択され、各議事日程は滞りなく終了した。任学鋒・市党書記、温国輝・市長、陳建華・市人代主任が出席。劉悦倫・新市政協主席が閉幕の講話を行なった（1月9日付『広州日報』）。

●10日午前、6日にわたる市人代第15期第1回会議の各議事日程が滞りなく終了し、成功裏に閉幕し、このたび当選した市人代常務委員会委員ならびに市政府の指導者がメディアと対面した（1月11日付『広州日報』）。

3. 2017年迎春茶話会の開催

- 11日、元幹部との上記茶話会が開催され、任学鋒・市党書記が挨拶。黄華華（元省長）、高祀仁（元市書記）、朱森林（元省長・市書記・市長）等元指導者、張広寧・省人代副主任、陳建華・市人代主任、劉悦倫・市政協主席等が出席（1月11日付『広州日報』）。
- 12日晚、黎明・副市長が主宰し、軍隊と政府による上記茶話会が開催され、陳志英・副市長、陳家静・南部戦区政治工作部副主任が講話を行なった。任学鋒・市党書記、陳建華・市人代主任、劉悦倫・市政協主席等が出席（1月13日付『広州日報』）。

4. 全人代予算工作委员会が広州市を視察

- 14日午後、劉昆・全人代予算委员会主任一行が広州市を訪れ、市人代のオンライン予算監督システムの立ち上げ状況を視察し、市人代、市政府、関連部門の責任者と意見交換を行なった。陳建華・市人代主任が視察に同行するとともに、広州市の経済・社会発展状況、市人代予算・決算審査監督状況等を紹介した（1月15日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 市党第6期第5回全体会議の開催

- 8日、許勤・市党書記兼市長が主宰の上記会議を主宰するとともに、市党常務委員会を代表し、第1回全体会議で活動報告を行い、2回目の全体会議で総括の講話を行なった。会議では全体会議における「決議」を採択し、深圳市から推薦する第19回党大会広東省代表として出席する候補者の投票が行われた（1月9日付『深圳特区報』）。

2. 2016年度民主生活会の開催

- 中央・省党委員会の統一手配に基づき、9日午後・晩、許勤・市党書記兼市長が主宰し、市党指導グループによる民主生活会を開催。会議では、六中全会の精神を深く学習し、「两学一做」学習教育の要求を中心に、「新たな情勢下における党内政治生活に関する若干の準則」、「中国共産党内監督条例」との対照を重点的にを行い、思想と実際の業務を結びつけ、党の本質について分析し、批判と自己批判を行なった（1月10日付『深圳特区報』）。
- 中央・省党委員会の統一手配に基づき、10日午後、許勤・市党書記兼市長が主宰し、市政府指導グループによる民主生活会を開催（1月11日付『深圳特区報』）。

3. 張勳甫・初代深圳市党書記の葬儀

- 中国共産党の優秀な党員であり、深圳市の初代書記だった張勳甫同志が4日、深圳市で死去（享年96歳）。5日午後、許勤・市党書記兼市長が市党委員会・市政府を代表して哀悼の意を表するとともに、張同志の親族を見舞った。10日午前、同市の葬儀場で葬儀が営まれ、許勤・書記兼市長、戴北方・市政協主席が参列するとともに親族を慰問。胡春華・省党書記、李鴻忠・天津市書記、馬興瑞・省長代行、王栄・省政協主席、習仲勳夫人の齊心氏等が花輪を送り、哀悼の意を表した（1月11日付『深圳特区報』）。
- 12日付『深圳特区報』（A7面）に、習近平の弟である習遠平氏による追悼文（「遠ざかる歲月、その背中は今なお心の中に――張勳甫おじさんを偲んで」）が掲載された。

4. 深圳市人代・政協の会議が開幕

- 11日午前、市政協第6期第2回会議が開幕し、戴北方・市政協主席が活動報告を行なった。許勤・市党書記兼市長が開会を祝賀し、丘海・市人代主任等も出席。黄中偉・市政協副主席が主宰（1月12日付『深圳特区報』）。
- 13日午前、市人代第6期第3回会議が開幕し、許勤・市党書記兼市長が政府活動報告を行なった。2017年深圳市のGDP成長率の目標値は約8.5%。2016年のGDP総額は1.93兆元（前年比約9%増）。固定資産投資額は約4,057億元（同23%増）。税収は3,136億元（同15%増）で、この4年間で2倍以上となった。丘海・市人代主任が主宰（1月14日付『深圳特区報』）。